

# 「医療従事者の職業性腰痛とストレスに関する後ろ向き研究」へのご協力をお願い

-2017年1月から2024年3月までの期間に当院で実施された職業性ストレス簡易調査票を用いたストレスチェックおよび基本的健康診断を受けられた方へ-

課題番号：第I2024-103番

## ・医療従事者の職業性腰痛とストレスに関する後ろ向き研究 研究の目的

腰痛は職業関連疾患の中でも発生頻度が最多であり、経済的・社会的損失をもたらす重大な問題となっています。医療者は臨床現場において肉体的ストレスのみならず心理的ストレスがかかり、腰痛が悪化し休職や就労制限が出ることも少なくありません。本研究は大学病院で働いている方を対象に毎年行われる職業性ストレス簡易調査票の結果を用いて、腰痛が発生しやすい集団分析および腰痛とストレスの関係を調査することを目的としています。

## ・医療従事者の職業性腰痛とストレスに関する後ろ向き研究 研究の方法・期間

2017年1月から2024年3月までの期間に当院で実施された職業性ストレス簡易調査票を用いたストレスチェックおよび基本的健康診断の結果を用いて、職業性腰痛とストレスの関係について後ろ向きに検討します。結果に関しては被調査者個人が特定できないように統計処理を行ったデータを使用して研究を行います。

研究期間は研究実施許可日から2029年3月31日までの予定です。

## ・医療従事者の職業性腰痛とストレスに関する後ろ向き研究 研究へのご協力にあたって

被調査者の個人情報を特定できないように統計処理を行ったデータを保存します。この研究で得られたデータは適切に保管し、研究終了後10年まで保管した後、個人情報が特定できないまま廃棄します。ストレスチェック、健康診断のデータを研究に使用することに関してご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。

## ・この研究成果の公表について

研究成果を論文等により公開いたします。公開内容には個人のプライバシーにかかわることは一切含みません。

## ・本研究の費用について

定期健康診断、ストレスチェック制度の一環として行われますので、費用負担はありません。

本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、利益相反医歯学系審査委員会に申告を行い、承認されています。

以上の点につきましてご不明な点がございましたら、医師またはスタッフまでお問い合わせください。

この研究に希望されない方は下記連絡先に電話をいただくことで対応いたします。よろしくお願いいたします。

承認日：            年    月    日（第1版）

東京科学大学病院

整形外科 教授 吉井俊貴

研究責任者 平井 高志(hirai.orth@tmd.ac.jp)

新田 智久(nitta.tomohisa@tmd.ac.jp)

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803-5279（内線:5279）

職員健康管理室 電話：03-5803-5081（内線:5081）

E-mail：[hokencenter.hsc@tmd.ac.jp](mailto:hokencenter.hsc@tmd.ac.jp)

苦情窓口 東京科学大学 研究推進部研究基盤推進課 生命倫理グループ

03-5803-4547（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）